

平成31年度 保護者 学校評価

A:そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D:思わない E:わからない (%)

番号	内容	平成31年度					平成30年度				
		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
問1	幼児児童生徒が主体的に学習に取り組むように、実態や学習内容に応じて教材や指導方法の工夫・改善を行っている。	50	45	1	0	3	48	38	0	0	14
問2	体験活動は事前の指導計画や事後学習を充実させ、その後の幼児児童生徒の生活や学習にいかされている。	56	41	1	0	1	48	46	0	0	6
問3	人や社会とかかわる活動を通じて、思いやりの心や責任感、自立心を養っている。	56	40	2	0	2	56	40	0	0	4
問4	教職員としての専門性と実践的指導力を向上させるために積極的に研修を行っている。	54	35	9	0	1	46	40	2	0	12
問5	社会自立を目指す教育を幼児児童生徒の発達段階に応じて行っている。	56	35	3	0	5	32	52	2	0	14
問6	視覚障害者に適した運動を選択し、基礎体力の向上と運動習慣の定着を図っている。	51	43	5	0	0	50	42	4	0	4
問7	計画的に交流及び共同学習を推進している。	36	41	7	0	15	46	38	4	0	12
問8	施設設備の安全を保ち、整理整頓をしている。	35	52	5	1	5	30	58	10	0	2
問9	災害に対する正しい知識と技能を身につけ、適切に判断して行動できる力を養っている。	35	52	1	0	11	38	50	4	2	6
問10	様々な危機（災害・いじめ・不審者等）を想定した対策を進めている。	37	45	7	1	9	30	56	4	0	10
問11	学校ホームページ、学校ブログ、「希望の花」、学部(学年)通信等は、保護者への情報提供に役立ち、広報としても機能している。	48	49	0	1	1	38	52	6	0	4
問12	個別面談やカウンセリングなどの機会が設けられ、相談機能が充実している。	52	39	3	0	5	54	34	4	0	8
問13	個別の指導計画は、個々の学習目標や指導の手立て、指導の経過や評価をわかりやすく記述し、保護者に説明している。	49	42	2	0	6	52	44	0	0	4
問14	個別の教育支援計画は、本人のニーズや保護者の願いを聞き取り、共通理解をして作成している。	56	40	2	0	2	58	38	2	0	2

→昨年より良い

→昨年より10%以上悪い

保護者のコメント

問3	・教師により差がある。
問4	・工夫しているとまでは言いきれないと思う。 ・本人のアセスメントが不足していると思う。
問5	・B、C組への対応のうすさを感じる。
問6	・年齢差によっての内容ではないと思うので定着しない。 ・もう少し天候とか考えてほしい点もある。
問7	・もっと交流の時間があればいいなと思う。 ・入学してから交流の機会はなかったため。必要も感じない。 ・本人が地元の交流を嫌がっているため。
問8	・基本的に古い。グラウンドのフェンスと扉がこわれていて危ないと思う。 ・生徒の安全に配慮して運動器具を使用していない事例があった。
問10	・もう少し、他学年と交流するべき ・具体的には考えているのか確かめたことがない。 ・昇降口は不審者が入りやすそうだと思う。 ・避難訓練の数が明らかに減少している。
問11	・HPで収集しているから
問12	・以前の学校では毎月のように外部から来られて実施されていた。
問13	・じっくり見る機会がないため ・お話をしていないのでわかりません。
問14	・じっくり見る機会がないため

		はい	いいえ
	学校生活は充実していますか	45	7
①	授業内容	32	1
②	学校行事	15	2
③	学校からの情報	12	3
④	友人関係	20	3
⑤	教員との関係	29	2
⑥	教員の専門性	11	2
⑦	施設設備	2	1
⑧	部活動	13	1
⑨	交流及び共同学習	9	0

充実している

- ・個別に対応してくれ、説明がとても丁寧。
- ・補助具などの情報提供をしてくれる
- ・教科全般で充実している。

充実していない

- ・子どもたちが楽しみにしている行事がどんどん縮小されている。